大会日程 第2日 11月19日(日)9:00~17:10 京都教育大学藤森学舎2号館

■研究発表

A 会場 (2 号館 1 階 D1 教室) B 会場 (2 号館 2 階 D4 教室) C 会場 (2 号館 1 階 D3 教室)

	セクション A – 1 司会:早稲田みな子	セクション B-1 司会:配川美加	セクション C−1
9:00 9:30	アンニ → 9 頁 奄美島唄の舞台における 歌詞の復権—1990 年代以 降の試みを中心に—	竹内有一・神津武男→ 21 頁 新出コレクション西村公 一文庫の特徴と可能性	【共同発表】 → 33 頁 大久保真利子(代表/司会) 仲辻真帆 濱崎友絵
9:35 10:05	山本佳穂 → 10 頁 三線の二面性とジェンダー 一「遊女(ジュリ)」との 関係に焦点を当てて—	廣井榮子 → 22 頁 もうひとつの浄瑠璃文化 一乙女文楽を通してみる 女義太夫・素人義太夫―	前川道博 「文化芸術資源」の活用 のためのアーカイブズ構 築 ―ケーススタディにみ
10:10 10:40	中原逸郎 → 11 頁 芸妲 (げいたん) の表演 一1935 年臺灣博覧会を中 心に一	丹羽幸江 → 23 頁 室町末期『下間少進手沢 車屋謡本』におけるツヨ 吟とヨワ吟の原型	る諸課題と資料活用の可 能性—

休 憩 (10:40-10:50)

	セクション A-2 司会:三島わかな	セクション B-2 司会:前原恵美	セクション C−2
10:50	古謝麻耶子 → 12 頁	中川優子 → 24 頁	【映像発表】 → 34 頁
	モザンビークで育まれて	新井白石の『俳優考』に	小日向英俊
	きた多文化共生の知恵と	かんする一考察	映像発表:日本在住イン
11:20 11:25 11:55	対話的音楽創作 丸山彩 → 13 頁 明治期から大正期にかけ ての日比谷公園奏楽	根本千聡 → 25 頁 笛の古楽譜にみる「基本 旋律」の意識	ド系コミュニティの音楽 文化 —その歴史と動態— 10:50-12:10
12:00	卓詩穎 → 14 頁	倉脇雅子 → 26 頁	映像発表上映
	清末期の蕭友梅の音楽認	1873 年ウィーン万国博覧	12:10-
	識 — 「音楽概説」(1907)	会における日本の楽器出	質疑応答
12:30	を中心に—	展について	司会:岡田恵美

休 憩 (12:30-13:20)

A 会場 (2 号館 1 階 D1 教室) B 会場 (2 号館 2 階 D4 教室) C 会場 (2 号館 1 階 D3 教室)

	セクション A – 3 司会:高松晃子	セクション B-3 司会:山本百合子	セクション C−3
13 : 20 13 : 50	柚木かおり → 15 頁 ロシアの都市の民俗バラ ライカの現在 —制度の隙 間からの出発—	呂政慧	【共同発表】 → 35 頁 劉麟玉 (代表/司会) 徳丸吉彦 小塩さとみ
13:55 	横井雅子 → 16 頁 ジプシー楽団におけるク ラリネットの使用 —その 導入の経緯をめぐって—	彭泓 → 28 頁 岩井智海の仏教唱歌創作 について―明治時代にお ける仏教唱歌研究の一例 として―	福田千絵 日本植民地下台湾(1895 - 1945)における邦楽の 演奏空間 ―台湾中央研究 院地理情報システムセン
14:30 	嶋和彦 博物館の新たな使命から考 える楽器博物館の可能性 一ユネスコ勧告とICOM 博物館新定義と浜松市楽器 博物館 20 年の実践から一	長谷川真由 → 29 頁 「幼稚園教育要領」における「文化や伝統に親しむ」にかかわる保育者の 意識 ―アンケート調査を 通して―	ター(台湾中央研究院人 社中心地理資訊科学研究 専題中心)との共同研究 を通じて一

休 憩 (15:00-15:10)

	セクション A – 4 司会:尾高暁子	セクション B-4 司会:竹内有一	セクション C-4
15:10	長澤文彩 → 18 頁 中国古代における甬鐘の 発音構造に関する一考察	植村幸生 → 30 頁 九学会調査音源資料を活 用した三匹獅子舞の再活	【共同発表】 → 36 頁 山本華子 (代表/司会) 壽美玲子
15:40		性化の試み	有村さやか
15:45	李嫣寒 → 19 頁 唐詩に見られる箏の受容 と演奏実態の考察	濱崎友絵 → 31 頁 諏訪地方における御柱祭 と木遣り — 「関わりの構	「よさこい文化」の幼児 音楽教育への導入と展開 一保育現場と養成校の取
16:15		造」をめぐって	り組みから一
16:20	柳沢英輔 → 20 頁 ベトナム中部高原におけ るゴングの調律技術	志川真子 → 32 頁 伝承の中断がもたらす経 済面への影響 —桂六斎念	
16:50		佛を事例として―	

休 憩 (16:50-17:00)

17:00	閉会の辞	大会実行委員長	田中多佳子	C 会場 (2 号館 1 階 D3 教室)